

科学する心を育てる

南保育園でソニーのものづくり教室

2月16日、ソニーのものづくり教室「七色万華鏡をつくらう」が、南保育園で開催されました。この教室には、4歳児16人、5歳児18人の計34人の園児が参加。ソニーセミコンダクタ株式会社白石蔵王テクノロジーセンター（二木誠テックプレジデント）の社員5人が講師を務め、紙コップと分光シートを材料に七色万華鏡を作りました。園児たちはそれぞれ個性的な飾り付けをして万華鏡を完成させ「光がキラキラしてきれい。自分で作って実験するのは楽しいです」などと目を輝かせながら話してくれました。



▲楽しそうに「七色万華鏡」をつくる園児たち

あの日を忘れずに

「2015追憶ともしび in 白石」開催

東日本大震災から4年を迎えた3月11日、「2015追憶ともしび in 白石」（蔵富人・白石すまいるプロジェクト・中町ソフトボール共催）が、すまいるひろばで開催されました。この日は、メンバーが「3.11」と書かれたオブジェを広場のステージに設置。訪れた人たちは、地震発生時刻の午後2時46分に合わせて黙祷を捧げました。また、夕刻にはオブジェの周囲に約300個のキャンドルの火を灯し、犠牲者の冥福を祈りました。参加者の1人は「キャンドルの光がとても優しく感じられた。3月11日は大切な日。忘れないようにしなくては」と話していました。



▲すまいる広場に灯されたキャンドルと「3.11」のオブジェ

100歳おめでとうございます

青木あつさんに松竹梅敬老祝金

3月11日、風間市長が3月21日に満100歳を迎える青木あつさんを訪ね、松竹梅敬老金と祝詞を贈り長寿を祝福しました。あつさんは白石市新町に生まれ、結婚後しばらくは専業主婦として家族を支えていました。戦後、夫と共に青木種苗店を始め、家業に従事されながら4人のお子さんを育てられ、現在は孫が8人、ひ孫が10人います。ご家族は、あつさんの長生きの秘訣を「何でもよく食べることで、何事にもよくよしいことではないでしょうか」と話してくれました。この日はご家族や施設職員みなであつさんの長寿をお祝いしました。



▲記念撮影する風間市長と松竹梅敬老金と祝詞を贈られたあつさん

きれいな着物でたのしいお茶会

大鷹沢保育園でおひなさまミニ茶会

3月3日、「おひなさまミニ茶会」が大鷹沢保育園で行われました。この日は、年長女児が同園保育士お手製の不織布で作った着物を着て、「うれしいひなまつり」の曲に合わせて踊りを披露。その後に行われたミニ茶会では、年長児12人が参加し、お茶の作法を学びながら大鷹沢保育園元園長の山崎義子さんが点てたお茶を味わいました。

参加した園児たちは「女の子の踊りが素敵だった」「着物を着られてうれしい。お茶もおいしかった」と笑顔で話してくれました。



▲保育士お手製の着物を身にまといお茶を味わう園児たち

防災関連施設の不具合に備える

災害時における応急対策の協力に関する協定締結

2月19日、本市と三和シャッター工業株式会社東北営業部は、「災害時における応急対策の協力に関する協定」を締結しました。東北では初となるこの協定は、台風や地震などの災害時に、市の要請で同営業部が学校や各公民館などの指定避難所、消防団積載車庫などの防災関連公共施設のシャッター・ドアの応急対策を実施するもので、点検対象施設は110カ所。締結式で風間市長は「この協定で、いざという時に対応できる方法をまた一つ手に入れることができ、市民の皆さんの安心につながる」と、感謝を述べるとともに期待を寄せていました。



▲協定を結び握手する木下広司東北営業部長（左）と風間市長（右）

親のみちしるべ

小原中学校で親の学びプログラム開催

2月16日、宮城県家庭教育支援チームによる親になる準備のプログラム「親のみちしるべ」出前講座が小原中学校で開催されました。このプログラムには、同校の1・2年生と小原小学校5・6年生の計19人が参加。おなかの中の赤ちゃんに見立てた重りの入ったリュックサックを体の前に抱え妊婦体験をしたり、親から聞いた自分が赤ちゃんのころの話などをしたりしました。参加した生徒の1人は「親がどれだけ苦労して私を育ててくれたか分かった。将来、子どもが生まれたら親の事を思い出して子育てをしたいです」と話してくれました。



▲重りの入ったリュックサックを抱え妊婦体験をする児童・生徒たち

中学生選抜チームもプレーで応援

仙台89ERS ホームゲーム開催

2月28日・3月1日の2日間、TKbjリーグの公式戦「仙台89ERS vs 東京サンレーヴス」がホワイトキューブで開催されました。本市でのTKbjリーグ公式戦の開催は、昨年に引き続き今回で3回目。試合の結果は、初日が106-66、2日目が98-75と両日とも仙台89ERSの圧勝で大会を終えました。また、試合の前には白石市と福島県伊達市の中学生選抜チームによるエキシビジョンゲームも行われ大会を盛り上げました。出場した中学生選手は「プロと同じコートで友達と一緒にプレーできて楽しかった」と感想を話してくれました。



▲大会を盛り上げた中学生選抜チームと89ERSの選手たち

火事が起きませんように

越河保育園の園児たちが地域を巡回

3月5日、越河保育園の園児16人が越河地区を巡回して「火の用心」を呼び掛けました。この活動は火災予防週間（3月1日～7日）に合わせて、地元の消防団の皆さんと一緒に毎年行っています。出発式で、佐藤由美子園長が「皆さんが火事に遭わないように元気な声で伝えましょう」とあいさつをしたあと、園児たちも「火遊びはしません。お父さんやお母さんの教えを守ります」と、防火の誓いを言い出しました。防火衣や法被を身にまとった園児たちは、拍子木を打ち鳴らしながら、元気な声で「火の用心」と呼び掛けていました。



▲拍子木を打ちながら元気に巡回する園児たち